

授業科目名	保育内容言葉Ⅱ	担当教員名	下村 恭子
必修/選択	選択（幼稚園教諭2種免許/保育士資格）	開講学年・学期	1年（※令和3年度は開講しません）
科目区分	教職・保育に関する科目	単位数	1単位（15時間）
施行規則に定める科目区分等	領域及び保育内容の指導法に関する科目-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む） 保育の内容・方法の理解に関する科目（別表2）	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	
授業の到達目標	<p>保育の中での保育者の言葉の特性について理解する。言葉の発達に合わせて言葉遊びや言語の素材を選び自在に実施できる。コミュニケーション、「ことばのちから」についてアクティブラーニングを通して学びを深める。</p> <p>1-保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）</p> <p>(1)各領域のねらい及び内容：幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、各領域のねらい及び内容を理解する。</p> <p>①幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。</p> <p>②当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>③幼稚園教育における評価の考え方を理解している。</p> <p>④領域ごとに幼児が経験し身に付けていく内容の関連性や小学校の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>(2)保育内容の指導方法と保育の構想：幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。</p> <p>①幼児の認識・思考・動き等を視野に入れた保育の構想の重要性を理解している。</p> <p>②各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。</p> <p>③指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。</p> <p>④模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</p> <p>⑤各領域の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができる。</p> <p>2-保育内容演習</p> <p>(1)養護及び教育に関わる保育の内容が、それぞれに関連性を持つことを理解し、総合的に保育を展開していくための知識・技術・判断力を習得する。</p> <p>(2)子どもの発達を、保育所保育指針における乳児保育の3つの視点（「健やかに伸び伸びと育つ」「身近な人と気持ちが通じ合う」「身近なものとの関わり感性が育つ」と、1歳以上3歳未満児及び3歳以上児の保育のそれぞれ5つの領域（「健康・人間関係・環境・言葉・表現」）を通して捉え、子どもに対する理解を深めながら、保育の内容について具体的に理解する。</p> <p>(3)上記2に示した保育の内容の視点及び領域を踏まえて、子どもが生活や遊びにおいて体験していることを捉えたとともに、保育に当たって保育士が留意、配慮すべき事項を理解する。</p> <p>(4)子どもの発達過程に即して具体的な保育場面を想定しながら、環境の構成、教材や遊具等の活用と工夫、保育の過程（計画・実践・記録・省察・評価・改善）の実践について理解する。</p>		
授業の概要	何を学ぶかを知り、幼児期に体験すべき豊かな言葉を培うための「お話の世界」を体験し、現場で実践できるように学習する。また、チームワークを意識しながらの教材作り、模擬保育などを通して保育者としての自信と現場でもつべき意識を実感する。		
テキスト	絵本「ねこのびと」作- エリック・リトウィン・絵- ジェームス・ティーン・訳-大友 剛(ひさかたチャイルド)、「発達別保育の環境と内容」、自作プリント		
参考書・参考資料等	「平成29年告示 幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 原本」（株式会社チャイルド本社）、新時代の保育双書 保育内容 ことば 第2版 成田徹男編 株みらい 絵本で育てるソーシャルスキル 明治図書 渡辺弥生 著書		
成績評価の方法	○学習態度：30% ○個人研究発表：30% ○提出物：30% ○レポート：10%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	オリエンテーション人前でパフォーマンスする練習（パン屋のメロンパン）何を学ぶかを知る。評価基準、授業ルール、保育資料の整理の仕方を知る（くじ、ファイルを毎回書く、宿題出す、チーム力を意識する）こどものやる気、集中力を促す言葉かけ、保育の流れと子どもの心を知り、実技の大切さを実感する。命令禁止規制をしない保育の大切さを意識する。	(1)-①,(2)-①	
第2回	折り紙で作った教材を3歳未満児用の言葉遊びと言語素材に変換し遊び方を研究する。／未満児のかかわり方のことばがけを知る 手遊びを覚える	(1)-①②,(2)①	
第3回	3歳以上児の発達過程に基づく、それぞれの年齢の「ことば」の育ち、かかわり方のことばがけを知る。絵本、シアター演習、手遊びを通して行う。	(1)-②④,(2)-①	
第4回	シアター演習を行う。ウォールシアターの演じ方の工夫・言葉がけ 見せる工夫	(1)-②,(2)-②③	
第5回	実習後の振り返りとして子どもたちの発言をどう受けとめ、発言を促すか、言葉がけの工夫を知る	(1)-③,(2)-④	
第6回	子どものことばあそびを広げるための先生のイマジネーショントレーニング	(2)-①	
第7回	体を動かす遊びから広がる、言葉につながる保育の流れをグループダイナミクスにより考える。互いの動きを映像にとりながら振り返りを行う ※情報機器あるいは視覚教材の使用	(1)-②,(2)-②③	
第8回	季節と行事と言語の素材（秋冬）を使い保育の流れを考える グループダイナミクス 製作（工作）につなげる	(1)-②,(2)-②③	
第9回	歌、リズムのあるお話の工夫 音楽のついている絵本とそうでない絵本の工夫	(1)-②,(2)-④⑤	
第10回	こどもの好奇心と集中力を上げる保育の工夫 ～モチベーションリング～	(1)-②,(2)-④⑤	
第11回	模擬保育 絵本「ねこのびと」を使った流れのある保育	(2)-③④⑤	
第12回	事例から適切な言葉がけを知る ～クラスを安心場所にするには～ 実技準備練習	(2)-①⑤	

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第13回	模擬保育 自作教材によるシアター発表 演じ方の工夫・言葉がけの工夫 実技	(2)-③④⑤
第14回	保育所保育指針の乳幼児期の終わりまでに育ってほしい10のこと～言葉の育ちとその環境づくりをまとめる 実技	(1)-④,(2)-①⑤
第15回	領域「言葉」をおとした保育を楽しく行うには ふりかえり	(2)-⑤
定期試験	定期試験は実施しない	